

2010年度聖和短期大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

聖和短期大学は、2009年4月の学校法人聖和大学と学校法人関西学院との合併により、2009年度から関西学院の制度下で自己点検・評価を行っています。

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（PDCAサイクル）を強化するため、認証評価と連動させて自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築し、翌2005年度には大学において自己点検・評価を実施しました。2006年度には、その報告書をもとに大学が大学基準協会による認証評価を受け（「適合」の認定）、2007年度からは認証評価の間の年（中間年）として学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を毎年実施してきました。

聖和短期大学は、大学と同様の方法により自己点検・評価を行うことを決定し、2009年度に短期大学基準協会に準拠した評価項目を定め、評価項目ごとに目標を設定しました。そして、本年度（2010年度）、認証評価の間の年（中間年）として学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を、設定した目標・指標に基づきながら、短期大学基準協会の評価基準に定めるように実施しました。6月より自己点検・評価を実施し、全学の自己点検・評価の実務作業を担う評価専門委員会に自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）を提出しました。7月中旬からは評価専門委員会（学外委員6名《大学関係4名、短期大学関係2名》・学内委員9名）が自己点検・評価に対して「学内第三者評価」を行い、10月には自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）返却に際して、相互に内容を説明・確認し合い、よりよい自己点検・評価や組織的な改善への取り組みを行っていくために、評価専門委員会と聖和短期大学が意見交換を行いました。

その後、聖和短期大学による「学内第三者評価を受けての追加記述」と「公示」「意見申し立て」を経て、本日、関西学院評価推進委員会において「2010年度聖和短期大学自己点検・評価報告書」が承認されましたので、本学ホームページで公表いたします。

聖和短期大学は、関西学院の制度下で自己点検・評価を始めたばかりであり、試行錯誤のところがあり、基本的なデータの作成・収集などの課題もあります。今後、毎年の自己点検・評価を実施し、その質を高めながら理念や使命、目的を達成するため改善を図っていく所存です。

なお、聖和大学短期大学部（合併により聖和短期大学に名称変更）は、法人合併前の2007年度に短期大学基準協会にて認証評価を受け、適格となっていることを付記させていただきます。

以上